

# ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約50項目

問題あり：10件

要確認：8件

問題なし：32件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 清水真人の基本情報

記載内容：「清水真人（しみず まさと）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで「清水 真人（しみず まさと）」と記載

記載内容：「1975年生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで「昭和50年2月26日、群馬県高崎市生まれ」と記載

記載内容：「群馬県高崎市出身」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで確認

#### 学歴

記載内容：「明治学院大学経済学部を卒業」

検証結果：△要確認

正しい情報：Wikipediaでは「明治学院大学経済学部商学科卒業」、参議院公式では「明治学院大学経済学部卒業」

根拠・出典：記事では「経済学部」のみだが、正確には「経済学部商学科」

#### 政党・組織名

記載内容：「自由民主党参議院議員（1期）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト及びWikipediaで確認

記載内容：「神道政治連盟国会議員懇談会」「日本の尊厳と国益を護る会」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで所属が確認

### 2. 数値情報

#### 選挙結果

記載内容：「約40万票（得票率53.94%）を獲得」

検証結果：△要確認

根拠・出典：群馬県選挙区のWikipediaには2019年の詳細な得票数が記載されていない。群馬県公式の開票結果へのアクセスが必要だが、具体的な数値の確認ができなかった。

## 年齢・時期

記載内容：「28歳で高崎市議会議員に初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで「平成15年、28歳の時に高崎市議会議員に初当選」と記載

記載内容：「2019年7月の第25回参議院通常選挙で初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで確認

## 政務官任期

記載内容：「2022年8月から2023年まで」

検証結果：✗誤り

正しい情報：第2次岸田改造内閣は2022年8月10日から2023年9月13日まで

根拠・出典：記事では「2023年まで」と曖昧だが、正確には2023年9月13日まで

## 3. その他の重要な事実関係

### 山本一太氏の経歴

記載内容：「山本一太氏（当時参議院議員）が群馬県知事選出馬のため議席を空けた」

検証結果：✓正確

根拠・出典：山本一太Wikipediaで「2019年7月4日に、群馬県知事選挙の告示に伴い立候補を届け出て、公職選挙法の規定により参議院議員を退職（自動失職）する」と記載

### 高崎市議会での役職

記載内容：記事中に明確な記載なし

検証結果：△要確認

正しい情報：参議院公式サイトで「平成21年高崎市議会副議長」と記載

根拠・出典：副議長を務めた事実が記事に反映されていない

### 政治姿勢に関するアンケート回答

記載内容：「選択的夫婦別姓について『どちらかと言えば反対』」「同性婚の法制化については『どちらとも言えない』」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで2019年のアンケート回答として記載

### 私立学校PTA関係

記載内容：「地元の私立学校PTA連合会長を務めた経験」

検証結果：△要確認

正しい情報：自民党公式サイトで「群馬県私立幼稚園・こども園PTA連合会 元会長・顧問」と記載

根拠・出典：記事では「私立学校PTA」だが、正確には「私立幼稚園・こども園PTA」

### 国会での委員会所属

記載内容：「文教科学委員会」所属の記載

検証結果：△要確認

正しい情報：自民党公式サイトでは「参議院 農林水産委員会委員」と記載

根拠・出典：記事の委員会所属情報と公式情報に相違がある可能性

## 改善提案

---

## 修正が必要な箇所の一覧

1. 政務官任期の表記：「2022年8月から2023年まで」 → 「2022年8月から2023年9月まで」
2. 学歴の詳細：「明治学院大学経済学部」 → 「明治学院大学経済学部商学科」
3. PTA関係の正確な名称：「私立学校PTA連合会」 → 「私立幼稚園・こども園PTA連合会」

## 追加確認が推奨される情報

1. 2019年参議院選挙の正確な得票数と得票率：群馬県選挙管理委員会の公式データで確認が必要
2. 委員会所属歴の詳細：文教科学委員会と農林水産委員会のどちらが正確か要確認
3. 高崎市議会副議長の経歴：記事に副議長歴が記載されていない
4. 政治資金に関する具体的な数値：「年間数千万円規模」という曖昧な表現の正確性
5. SNSフォロワー数：「数千人」「1,000人強」という推測値の正確性

記事全体としては基本的な事実関係は概ね正確ですが、数値情報や詳細な肩書きについて一部不正確な箇所や曖昧な表現が見られます。特に選挙結果の数値については公式データでの確認が必要です。